

[一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 設立趣意書]

(社)日本冷凍空調設備工業連合会と(社)日本冷凍空調工業会、日本フルオロカーボン協会の3団体は、モントリオール議定書による規制冷媒(CFC,HCFC)を使用する冷凍空調機器から冷媒を回収し、これを再生することによって補充用冷媒の供給を確保するため、1993年「冷媒フロン再生センター」(以下、RRC)を設立いたしました。

その後、オゾン層保護と地球温暖化防止の観点から、冷媒(CFC,HCFC,HFC)を適切に回収・処理することが重大な意義を持つこととなりました。RRCは、当初の再生目的に留まらず、その社会的要請に応えるべく1998年に「冷媒回収推進・技術センター」と名称を変更し、冷媒回収の重要性の啓発、冷媒回収技術者の育成、回収装置の安全・性能基準策定など、冷媒回収に関する様々な事業を展開し、社会基盤の構築に大きく寄与してまいりました。

しかしながら、未だに機器廃棄時等における冷媒の回収率が、目標に達していないのが現状です。また、新たな問題として、機器使用時における補充用冷媒量(漏えい量)が想定以上に多いことが判明しました。今後は、これまでの回収だけでなく、冷凍空調機器の設置及び使用から廃棄までのサイクルにおいて、冷媒を大気に排出しないトータルなシステムの構築及びその管理体制の整備が急務となっており、それは冷凍空調業界に課せられた責務であると考えております。

われわれ3団体は、これまでRRCで培った経験と実績を活かし、的確かつ中立的立場で、一層の社会的認知と信用を受けて時代の要請に応えていく所存です。オゾン層保護及び地球温暖化防止等のために、地球環境を保全し、子々孫々まで美しい地球を引き継ぎ、人類の持続的な繁栄と幸福に、より一層貢献していきたいという決意を持って、冷媒の大気排出削減の確実な実現に向けて要となる団体、一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構をここに設立するものであります。

設立者一同

社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

社団法人 日本冷凍空調工業会

日本フルオロカーボン協会

[目的]

この法人は、オゾン層保護及び地球温暖化防止等の地球環境の保全のため、冷媒の使用者及び関係事業者と連携し、冷凍空調機器等からの冷媒の大気排出削減及び冷媒の回収・再利用等に係る事業の推進を図り、もって、国民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

[事業]

1. 冷凍空調機器等の使用時及び廃棄時における冷媒の大気排出削減に係る事業
2. 冷媒に係る回収技術者等の育成と資格者認定・登録及び事業所の認定・登録に係る事業
3. 冷媒の大気排出削減に資する研究・開発及び普及・啓発に係る事業
4. 冷媒及び冷凍空調機器等に関する情報収集・情報提供に係る事業
5. 回収冷媒の再利用に係る事業
6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業